

▼ 5月11日  
**大きくなって帰ってきてね**



重信川右岸の出合橋のたもとで、若葉保育所の園児が、アユの稚魚約4,000匹を放流しました。放流は重信川漁協(本多義雄組合長)が毎年実施しているもので、大洲市の蓄養池で約5カ月間育成した高知県産のものでした。小雨の降る中、雨がっぱや長靴姿の園児は、バケツに小分けした約8センチのアユを放流し、「大きくなって帰ってきてね」と声を掛けていました。

▼ 5月3日  
**今年も盛大に 松前港祭り**



5月のさわやかな青空のもと、瀧姫神社周辺で、松前港祭りが開催されました。鮮魚や鯛めしなどの販売をはじめ、マグロの解体ショーや魚のつかみ取りなどが行われ、会場には大勢の家族連れが訪れました。特設の水槽で行われた魚のつかみどりに参加した子どもたちは、ぬれることも気にせず、歓声をあげながらタイやハマチなどを元気に追いかけていました。

▼ 4月25日  
**レンゲ畑で笑顔も満開**



ぽかぽかした春の陽気の中、第3回鶴吉レンゲ祭りが開催されました。鶴吉地区は、平成19年度から「農地・水・農村環境保全向上活動支援事業」を進めています。その一環として栽培しているレンゲが、畑一面ピンクと緑色のじゅうたんを敷き詰めたようでした。レンゲ畑に隠された宝探しゲームでは、子どもたちは元気いっぱいレンゲ畑を駆け回って楽しんでいました。

▼ 4月21日  
**親子で学ぶ交通安全**



松前小学校で、1年生の親子を対象に交通安全教室が開催されました。児童と保護者は、事故実験や白バイ走行を見学し、警察署員や安全協会員とともに正しい道路の渡り方を学んだ後、パトカーや白バイに乗車しました。その後、全校児童で警察音楽隊の演奏を聞きました。1年生には反射材がプレゼントされ、みんなで交通安全を約束しました。

▼ 5月16日  
**あそびの日**



松前町レクリエーション協会の主催で、「ミステリー・ウォーク2010」が行われました。この活動は、全国一斉あそびの日キャンペーンの一環として行われたもので、参加した幼児から大人まで約80人は、10班に分かれて義農公園や玉生神社などを巡りました。参加した小学5年生の福岡寛晃くんは、「義農公園で石に絵を描くストーンアートが面白かったです」と話していました。

▼ 5月3日  
**北川原春祭り・子ども相撲大会**



北川原春祭りが、地元の子供から大人まで大勢の人が参加して、沖神社で行われました。晴天に恵まれた当日は、朝からバザーやくじ引きなどがあり、また、午後からはもちまきも行われ、終日大勢の人でにぎわいました。子ども相撲では、子どもたちのかわいい元気な取組に、見守る観客から大きな歓声や拍手が送られていました。

▼ 4月25日  
**いつもきれいな町にしよう**



松前町ひまわり塾が呼びかけた国道56号の清掃活動が、役場東交差点からアオキシューズ交差点の間で一斉に行われました。参加者は、思い思いの場所から清掃を開始。歩道に落ちているごみや、植え込みで伸びきっていた草が取り除かれ、約1時間の清掃活動で、見違えるようにきれいになりました。

▼ 4月24日  
**古里神崎を再発見 かんざき塾開講**



神崎の昔と今を映像と野外巡回で楽しく学習する「かんざき塾」が、地元の有志を講師に迎え、神崎集会所で開講しました。第1回のテーマは「神崎の生い立ちと境界」でした。約40人の参加者は、集会所で映像を見ながら歴史を学び、その後、実際に境界を見て回りました。中学1年生の中村真菜さんは「神崎のことが色々分かって楽しかったです」と笑顔で話していました。